

受章おめでとうございます

平成18年

春の叙勲・褒章

春の叙勲・褒章が発表され、一関市からは、建設業振興や専門工事業振興、看護業務、教育、郵便事業、職業訓練、消防、統計調査の分野でその進展に長年尽くされた功績により、叙勲に9名、褒章に1名の方々が栄誉に輝かれました。

旭日双光章



小山喜久雄さん(73)
室根町矢越

建設業振興功労

元県建設業協会副会長

一関市(旧室根村)出身。昭和55年(社)若手県建設業協会千厩支部監事となり、同支部理事、副支部長、同協会理事を歴任後平成14年から16年まで同協会副会長を務められ、建設業の振興に尽くされました。

瑞宝双光章



千葉桂子さん(61)
真柴

看護業務功労

元国立療養所八戸病院総看護師長

一関市(旧一関市)出身。昭和41年国立仙台病院看護婦となり、平成6年国立療養所湯田川病院総看護婦長などを経て、14年から16年まで同八戸病院総看護師長を務められ、看護業務に尽くされました。

旭日双光章



永澤幸吉さん(74)
三関

専門工事業振興功労

元県管工業協会副会長

仙台市出身。県職業能力開発協会配管職種技能検定委員を長年務められたほか、昭和52年(社)若手県管工業協会一関支部長平成5年から17年まで同協会副会長を務められ、管工業の振興に尽くされました。

瑞宝双光章



横沢 淳さん(78)
東山町田河津

教育功労

元公立小学校長、元東山町教育長

一関市(旧東山町)出身。昭和23年公立学校教諭となり、55年から63年まで大籠小、小梨小、東山中各校長、平成2年から12年まで東山町教育長を務められ、学校教育と教育行政の発展に尽くされました。

藍綬褒章



鈴木正人さん(81)
上坊

統計調査功績

元国勢調査員

一関市(旧一関市)出身。昭和22年統計調査員となり、国勢調査、各種統計調査に従事。平成13年から6年間市統計調査員協議会会長、14年から15年まで県統計調査員協議会連合会副会長を務められました。

瑞宝単光章



小岩一郎さん(75)
字沢

職業訓練功労

前一関職業訓練協会会長

一関市(旧一関市)出身。昭和43年一関職業訓練協会入会。同協会理事、監事、副会長を経て平成元年から16年まで同協会会長および一関高等職業訓練校長として職業訓練環境の充実に尽くされました。

瑞宝単光章



佐藤公雄さん(73)
花泉町永井

消防功労

元花泉町消防団長

一関市(旧花泉町)出身。昭和39年花泉町消防団員となり、平成6年から分団長、本部長、副団長を歴任後、13年から17年まで同分団長を務められ、消防、防火や水防など地域防災活動に尽くされました。

瑞宝単光章



高金左太夫さん(70)
東山町田河津

消防功労

元東山町消防団副団長

一関市(旧東山町)出身。昭和28年田河津村消防団員となり、33年から東山町消防団員、分団長を経て平成9年から16年まで同分団長を務められ、防火や自主防災意識の高揚などに尽くされました。

瑞宝単光章



中川秋郎さん(73)
大東町大原

消防功労

元大東町消防団副団長

一関市(旧大東町)出身。昭和26年大原町消防団員となり、30年から大東町消防団員、分団長を経て平成3年から6年まで同分団長を務められ、地域防災活動や団員の育成などに尽くされました。

危険性の高い業務に尽力した人に授与されるもので、一関市からは2名の方が受章されました。

危険業務従事者叙勲

瑞宝双光章



星 輝夫さん(77)
関が丘

警察功労

元県警部

登米市(旧迫町)出身。昭和24年県警察官となり、水沢署、岩泉署などを経て昭和62年から大船渡署交通係長、平成元年から2年まで一関署外勤係長として勤務され、地域の安全に尽くされました。

瑞宝単光章



吉田行雄さん(80)
山目

警察功労

元県警部補

釜石市出身。昭和20年県警察官となり、宮古署、遠野署、水沢署などを経て昭和54年から58年まで一関署に勤務、主に防犯交通部門を担当し、地域の安全と青少年の非行防止に尽くされました。

環境大臣表彰受賞

— ボーイスカウト千厩第一団 —

ボーイスカウト千厩第一団(千田恭平団委員長、団員25人)が、18年度「みどりの日」自然環境功労者(いきもの環境づくり・みどり部門)で環境大臣表彰に輝き、5月1日、関係者が市役所を訪れ浅井市長に受賞を報告しました。

同団は昭和40年結成。平成2年から、千厩川をホテルの飛ぶ川に戻すことを目標に水生生動物調査に取り組んでいるほか、河川の清掃、流域住民への啓発などの環境保全活動に長年にわたり取り組んできたことが高く評価され、今回の受賞となりました。

報告には千田団委員長と奥玉昌代ベンチャー隊長、団員の川村毅君、千厩小6年、清水隆也君、同5年が訪れました。



浅井市長の祝福を受け、千田団委員長は「40年の積み重ねと関係者のご協力のたまもの。これからも地道に取り組んでいきたい」と語り、川村君は「すこくうれしい。これからも頑張りたいです」と受賞の喜びを話してくれました。